第30回手話まつり

令和5年11月23日(木・祝)、112名が参加し 説 援センターやまももの授産製品も販売していた 「第30回手話まつり」が開催されました。

午前の部では、全国行脚中の手話ができる「猿 回しの若手コンビ アイノテ」のお猿さんが来まし た。参加者からは「猿が手話をできることに感動 した」と大盛り上がりでした。

その他、フラダンスと手話通訳問題研究会で 歌を披露し、就労支援継続B型「麦」と地域活動支 だきました。

午後の部では「ひげの校長」を上映しました。 手話言語が誕生したことの歴史や、校長先生の ろう者に対する気持ちが強くこころに残り、大変 感動できてよかったと鑑賞された皆さんに喜ん · でいただきました。



宝行委員長のあいさつ

徳島県肢体障害者協会の目指す社会参加

当協会は、身体障害者手帳所持者の約半数を占める肢体障害者 の当事者団体として昭和33年に設立され、会員相互の親睦や自立 更生に向けて様々な取組を続けてきました。当会の主な活動には、 肢体障害者大会をはじめフライングディスク大会、ウォーキング大 会、女性部学習会、青年部研修会等があり、これらを通して、社会参 徳島県肢体障害者協会 会長 東谷 克子

: 加をすすめ地域活動をひろげる『きっかけ』を作ることが目的の一 つです。当会も高齢化や会員減少の課題もありますが、他の当事者 団体とも連携・協力を図りながら、今後も『その人らしい社会参加』 の機会や場を創ること、そして、より多くの人に参加してもらえるよ う創意工夫しながら取り組んでいきたいと考えています。

NPO法人徳島県聴覚障害者福祉協会 理事長 平

徳島県視覚障害者連合会だより

コロナウイルスにより、本来行えるはずであった事業などが全て 中止となった3年余りは、試練の年となり、この間に、何人かの友人 が亡くなったり高齢化や新たな会員に呼びかけする術もなく、会の 存在にも危機感を感じる昨今です。

しかし、こんな時こそ前向きになり、団体の意義を発揮すべく、ス ポーツ活動や様々な行事への参加しやすい状況を作り、笑いや会 話で楽しいと感じられる一時を少しでも多く作る事に努めたいと考 えています。

徳島県視覚障害者連合会 会長 笠井 童夫

社会情勢の変化や進化になかなかついていくのが大変ですが、 パソコンや携帯電話を使いこなす内容が一つ一つ増えて、今までに ない生活の広がりを体験しつつあります。

また、南海トラフ災害も頭に置きながら出来る範囲で心構えと物 資の備えをし、地域や団体での共生社会の充実、一人ひとりが楽し いと思える生活が出来ることを願い今後も様々な活動を行ってい きたいと考えています。

好市身体障害者会視察研修の開催

三好市身体障害者会 会長 藤井 修身

令和6年2月21日(水)に三好市身体障害者会の視察研修を開催しま た方はなく、新たに施設のことを した。

各支部から参加者19名により徳島県立障がい者交流プラザ見学と 徳島新聞印刷センター工場見学をしました。

ここ数年間はコロナ禍により研修旅行を行うことができませんでした が、7年ぶりに親睦交流を兼ねて視察研修を行いました。

当日は午前中バスで徳島市まで移動し、徳島県立障がい者交流プラ ザでは施設職員に案内していただき館内を見学しました。何度か入館し ている会員はいますが、屋上リハビリ公園から2階、1階の全館を見学し

知るよい機会となりました。ト レーニング室や温水プールを見 学している時に会員から [施設

が近くにあれば、利用してみたい」と言われました。

昼食後には、徳島新聞印刷センターに移動し工場内を見学しました。 スタッフから見学プログラムの説明後、工場内の印刷工程を実際に 説明いただきながら見て回り、長時間の見学で新聞ができるまでの工 程がよくわかり、有意義な見学になりました。



令和6年11月8日(金) 第48回中・四国ブロック福祉大会(かがわ大会)

令和6年11月28日(木) 令和6年度徳島県身体障害者相談員研修 令和6年12月

第43回障がい者の集い県民大会 <第43回徳島県身体障害者福祉大会>





身障とくしまは会参加推進センターだより

社会福祉法人徳島県身体障害者連合会 発行人 林 德太郎

● https://kenshinren.e-tokushima.or.jp/ **● 088-631-6266 ■ 088-631-6211**



2024.4月号

社会福祉法人徳島県身体障害者連合会 德太郎

令和2年に始まり、猛威をふるった 新型コロナ禍により混乱した市民 生活も、ようやく落ち着きを取り戻し つつある中、新年度を迎えました。

私は、昨年2月20日に理事長に 就任し、当連合会のかじ取りを担う こととなりました。身体障害者の福祉 向上と当連合会の発展のため、微力 ですが尽くしてまいりますので、 ご指導のほどよろしくお願いします。

> ÷ 57. ·?? <

私は、かねてから当連合会は、2頭 立ての馬車だと申し上げてきました。 まず、1頭は当連合会を組織している 県下24市町村ごとに結成されている 身体障害者会(市町村会)の連絡 調整等に関する業務。もう1頭は、 障害者支援施設眉山園及び小星園 の経営です。予算規模では、後者が 圧倒的に大きいが、あくまでも主役 は前者です。今その市町村会が、人口 の減少、高齢化、人と人とのつながり の希薄化等により、活動する会員の 減少とともに会活動が停滞化して きています。

市町村会のこのような状況は、↑ことにしています。

↓ 即連合会自身の活動に繋がります。 そこで、当連合会と市町村会との 結び付きをより強固にし、市町村会 の活性化に結び付く解決策を見出す べく、理事長の諮問機関として、 有識者5人から成る「将来構想検討 委員会|を設置。昨年度末に答申を 頂いたが、これを基に当連合会の 組織や運営のあり方について、検討 を進めてまいります。

+3.4 -7.4

次に、施設経営についてですが、 大きな動きがあるのは、小星園です。 近年、我が国では地震、津波災害が 多発しています。本県では、今後 30年の発生確率が70~80%と される南海トラフ巨大地震への対策 が喫緊の課題となっています。この ため、小星園では、国・県の補助金を 頂きながら、緊急時には、県の西部 圏域を始め県内全域から在宅の 身体障害者を受け入れるための 多目的室や機能回復訓練室を備えた 施設の建設を進めています。去る 3月3日に起工式を行い、本年度中 の完成を目指しています。なお、 平常時は、園利用者の日中支援や 機能回復訓練のために使用する → 2 +3E+

新型コロナの影響により中断して いた社会参加活動は、「ふれあい視察 研修 として、昨年度は2回実施しま した。コロナ禍のため長い間外出が 制限されていたが、やはり会活動の 活性化には人々の活動と交流が必要 であるとの考えの下に行いました。

第1回目は、昨年10月24日に 18名で朝日新聞社阪神工場を視察 しました。第2回目は去る3月7日に、 堺市にある国際障害者交流センター 「ビッグ・アイ」。募集20名のところ、 大幅に超える36名の方で視察・ 交流を楽しみました。好評でしたので、 今年度も実施することにしています。

→ ?? ←

この「身障とくしま」は、従来1月と 7月に発行していましたが、発行の 目的、効果等を考え、新事業の始まる 4月と前半の事業評価と後半の 事業案内を行える10月に発行する ことにしました。

何事も前例踏襲主義ではなく、 必要な改善・改革を常に心にしながら 新時代に向けて、会運営を進めて まいりますので、お気付きの点が ありましたら忌憚なくご意見をお寄せ ↑ ください。

4 ● 身障とくしま 社会参加推進センターだより 身障とくしま 社会参加推進センターだより ● 1

令和5年度表彰者

(敬称略)

厚生労働大臣表彰

社会福祉功労 令和5年11月15日 河野トミス(小松島市)

更生援護功労 令和6年2月14日

清(藍住町)

日本身体障害者福祉大会会長表彰 令和5年5月25日

身障福祉功労

妹尾 保美(東みよし町)

知事表彰(徳島県表彰) 令和5年8月7日

身障福祉功労

兼松 久雄(松茂町)

知事表彰(障害者の集い県民大会) 令和5年12月9日

身障福祉功労

瀬川 一夫(吉野川市) 笠井 房子(阿波市) 進(松茂町)

尾之上信義(吉野川市) 西保手文子(美馬市) 福島美智代(上板町)

徳島県社会福祉大会名誉大会長表彰 令和5年11月16日

自立更生

邊見 敏正(三好市) 小川エミ子(板野町)

徳島県身体障害者連合会理事長表彰 (徳島県身体障害者福祉大会) 令和5年12月9日

身障福祉功労

岡山千賀子(徳島市) 眞鍋 俊子(吉野川市) 河野 正美(吉野川市) 岡本ミサ子(三好市) 佐々木輝義(那賀町) 恵(美波町) 吉見 節子(東みよし町)

勇(徳島市) 後藤田 賢(吉野川市) 藤森千鶴子(吉野川市) 向井 君代(三好市) 阿部ミチ子(美波町) 尾澤 友也(上板町) 岡井 正夫(東みよし町)

内助の功

森本 陽子(吉野川市)



ふれあい視察研修

日 時 令和5年10月24日(火)

視察先 朝日新聞阪神工場(兵庫県西宮市)

朝日新聞阪神工場では、9名ごとの2班に分 かれて工場内を見学し「新聞のできるまで」に ついて分かりやすく見学・説明を受けました。 日頃読んでいる新聞がどのように手間をかけ て作り上げられているのかを知り新聞の読み 方を考えさせられました。また工場長から、障害

者雇用についての説明があり、この工場では 3名の障害のある方を雇用し、フルタイム・週5 日勤務で勤務されているそうです。見学の最 後には、見学記念新聞を作成してくださり全 員に配布していただきました。



参加人数:18名

ふれあい視察研修+

日 時 令和6年3月7日(木) 視察先 国際障害者交流センターBIG-i(大阪府堺市)

BIG-iは、障害のある人が障害のない人と同 等に生活し、ともにいきいきと活動できる社会 を目指すことを目的とし2001年に設立され た施設です。施設の中は全てがバリアフリー で、どのフロアも多様な障害に応じたきめ細や

かな工夫が施され、参加者の方々は驚きの連 続で「参加してよかった。次はぜひ宿泊を兼ね た研修を企画して欲しい」などの意見をいた だき、実のある大変有意義な視察研修となり ました。

参加人数:37名



徳島県身体障害者連合会賛助会員制度

賛助会制度につきましては、多くの皆さまに温かいご支援をいただき感謝申し上げます。 今後とも、共生社会の実現を目指し、健全な運営に努めてまいりますので、ご支援をよろし くお願い申し上げます。

趣旨にご賛同いただいた皆様(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

| 貿治 | 清 | 様 | 富 | 弘生 | 様 |
|-----|-----------------|---|-----|----|---|
| 後藤E | 1 賢 | 様 | 多田 | 博一 | 様 |
| 高原 | 康代 | 様 | 福島美 | 智代 | 様 |
| 兆井 | 春男 | 様 | 正木 | 祐史 | 様 |
| 大久代 | 累 愛子 | | 上田 | 恵美 | 様 |
| 坂東 | 正文 | 様 | 長濱ひ | かる | 様 |
| 東谷 | 克子 | | 竹田 | 国利 | 様 |
| 坂東 | 泰宏 | | 平川 | 靖幸 | 様 |
| 豊田 | 賀行 | 様 | 尾之上 | 信義 | 様 |
| ÞШ | 善嗣 | 様 | 河原 | 弘明 | 様 |
| 松田 | 卓男 | 様 | 村上 | 司郎 | 様 |
| 賽野 | 毅 | 様 | 勢登 | 治義 | 様 |
| 鎌田 | 信隆 | 様 | 瀬川 | 一夫 | 様 |

石原千代子 様 和雄 様 一村 幸子 様 古庫 計子様 壽郎 様 大西 正之様 乾 泰幸 様 功様 先田 川島町身体障害者会 様 山川町身体障害者会 様 鴨島町身体障害者会 様

> ありがとう ございました 🚺

替助会入会のご案内

賛助会費 年額

個人10 1,000円

団体1□ 10,000円

<何□でも可>

※当法人への賛助会費は、税 法上、寄附金扱いとなり、所 得税の寄付金控除(所得控 除)又は法人税法の特別損金 算入の対象となります。

※賛助会員の皆さまには、広報 紙「身障とくしま」をお届けし ます。

お問合せは、

徳島県-身体障害者 連合会事務局まで

TEL:088-631-6266 FAX:088-631-6211



阿波総合開発株式会社 徳島カントリー倶楽部様より ご寄付をいただきました

阿波総合開発株式会社徳島カントリー倶楽部様より心身障害者基金 のご寄付・ご支援をいただきました。身体障害者の福祉のため、大切に 使わせていただきます。

ありがとうございました。

眉山園 だより

眉川園関係施設は次の4 つの事業を運営しています。 「眉山園」では障害者支援施 設として日中は生産活動を 中心とした生活介護事業、夜 間は施設入所支援事業、「社

会就労センターかもな」は就 労継続支援B型事業、「眉山 園デイセンター」は重度心身 障害者を中心とした生活介 護事業(通所)、「障害者生活 支援センター眉山園」は徳島 市からの委託を受け、指定特 定相談支援事業·指定障害 児相談支援事業を実施して います。よろしくお願いいた

小星质

はじめまして。

小星園は、美馬市脇町字 小星に立地しています。障害 者福祉施設として、障害者支 援サービス、ケアホーム、相 談支援の3事業を実施してい

ます。障害者支援サービス は、施設入所50名、日中支援 60名の定員、ケアホームは、 7名の定員となっています。 県西部圏域の障害者支援施 設として、西部圏域を中心に 県内身体障害者の皆様に支 援サービスを提供していま す。相談支援では、様々な不 安や困りごとに対するご支 援を行っています。



徳島市聴覚障害者会 会長港

私は、平成元年より徳島県聴覚障害者 協会理容剣美会会長として20年間運営 活動を続けていました。

中でも、一番の思い出は、令和2年に 厚生大臣から天皇皇后両陛下への拝謁 に招待して頂いたことです。突然で驚き ましたが、妻と共に厚生労働会館へ赴き、

参加者80人の代表として当時の厚生大 臣加藤勝信先生から表彰状を頂きまし た。その後、天皇皇后両陛下へ拝謁し、お 祝いのお言葉を頂き、優しく励まされ感 動感謝で胸がいっぱいになりました。松 の塔の前で、参加者と記念写真を撮りま した。二度とない大切な宝ものです。



2 • 身障とくしま 社会参加推進センターだより 身障とくしま 社会参加推進センターだより ● 3